

色 *Shiki*

舞 *Bu*

奏 *Sou*

Arts & Science LAB.
竣工記念フェスティバル
オープニングコンサート

林英哲 [和太鼓]

ベルリン・フィル シャルーン・アンサンブル

Berlin Philharmonic Scharoun Ensemble

Christophe Horak (Violin) | Rachel Schmidt (Violin) | Micha Afkham (Viola) | Mikayel Hakhnazaryan (Violoncello)
Peter Riegelbauer (Double Bass) | Alexander Bader (Clarinet) | Markus Weidmann (Bassoon) | Stefan de Leval Jezierski (Horn)

5月29日[金] 19時開演 (18時30分開場) 東京藝術大学奏楽堂 (大学構内)



林英哲: 三つ舞
和太鼓: 林英哲、英哲風雲の会

松下 功: 和太鼓協奏曲第1番(飛天遊)、第2番(天地響應) (八重奏版)
和太鼓: 林英哲 シャルーン・アンサンブル

芸術監督: 宮廻正明
[本学大学院教授・社会連携センター長]

●入場無料・全席指定

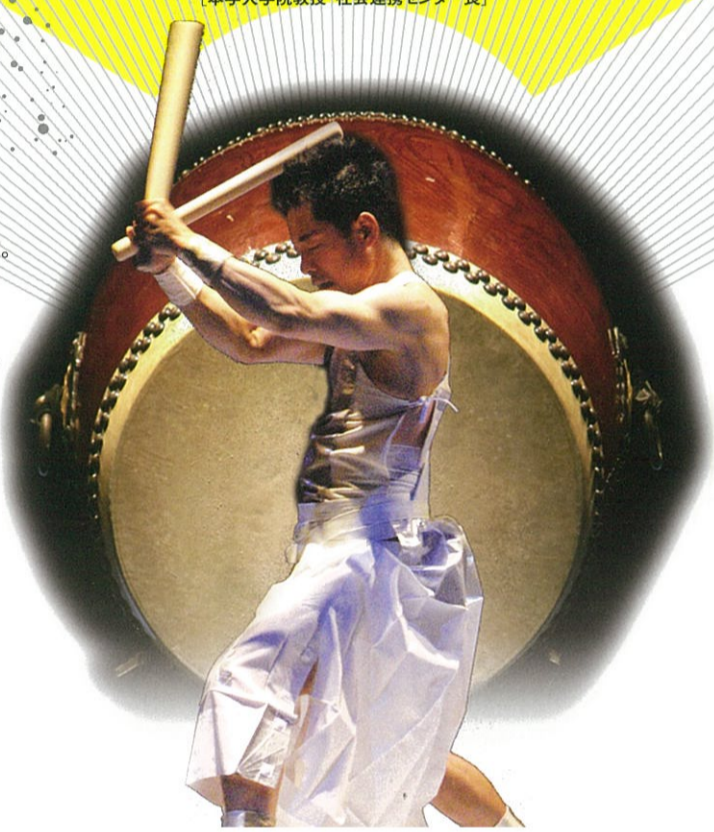
(往復ハガキでお申し込みください)

※チラシ裏面を参照の上、5月11日(月)までにお申し込み願います。限られた席数でございますので、申し込み多数の場合は、厳正なる抽選の上、当選ハガキの発送をもってご連絡させていただきます。

【お問い合わせ】

●東京藝術大学COI研究推進機構
TEL: 050-5525-2486
Mail: innovation@ml.geidai.ac.jp
Web: http://innovation.geidai.ac.jp

※スケジュール・曲目・出演者等は都合により変更となる場合がありますのでご了承ください。
※就学前のお子様の同伴・入場はできませんので、ご了承ください。



「感動」を創造する芸術と

科学技術による

共感覚イノベーション

主催: 東京藝術大学COI拠点
協力: 東京藝術大学音楽学部、演奏芸術センター
社会連携センター、アートイノベーションセンター

芸術は、いつの時代にも人々の暮らしに「感動」を与えてきました。科学技術が高度に発展した現代には、現代人の感性を揺さぶる「感動」があるはず。本公演は、東京藝術大学が培ってきた美術・音楽・映像に身体表現を加えた「彩り、舞う、奏でる」をテーマとした「色舞奏」の発表です。



林英哲

「佐渡・鬼太鼓座」「鼓童」の創設に関わり、同座のトップ・プレイヤーとして数多くの世界ツアーをこなす一方で、主なレパートリー曲を作編曲。11年間のグループ活動の後、82年、ソロ活動を開始。以後、太鼓独奏者として日本の伝統にはなかった大太鼓ソロ奏法の創造、多種多様な太鼓群を用いた独自奏法の創作など、前例のない太鼓リストという分野を開拓し、現代音楽の分野でも多くの楽曲を提供され、2000年には《飛天遊》(作曲: 松下功)でベルリン・フィルとの共演も果たした。世界に向けて日本から発信する新しい音楽としてのオリジナルな太鼓表現を独自に築きあげ、国境、ジャンルを越えて、今なお新たな創作活動に取り組み、広く国内外で活躍中。

97年芸術選奨文部大臣賞、01年日本文化芸術振興賞受賞、映画、演劇、CM、創作太鼓のための委嘱作品なども多く作曲、指導。CD、DVD、ビデオ多数。04年より洗足学園音楽大学客員教授(2015年退任)、09年より筑波大学大学院非常勤講師、15年4月より東京藝術大学客員教授。著書に「あしたの太鼓打ちへ」(晶文社刊)、新刊として待望の書き下ろし自伝「太鼓日月〜独走の軌跡」を講談社より発売。その他雑誌等に原稿掲載多数。



シャルーン・アンサンブル

1983年にベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の団員によって設立されたシャルーン・アンサンブルは、ドイツの主要な室内楽組織のひとつである。バロック時代、古典主義、ロマン主義の室内楽から現代の作曲家たちに及ぶ幅広い演奏曲目とともに、四半世紀以上の長きにわたりヨーロッパや海外の人々に感動をもたらしている。革新的なプログラム編成、洗練された音色文化と活気溢れる演奏が特徴で、様々な楽器を組み合わせで演奏する。シャルーン・アンサンブルの半永久的な核心は、ベルリン・フィルの団員によって構成された伝統的なオクテット(クラリネット、バソーン、ホルン、第1ヴァイオリン、第2ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス)である。

松下功

東京藝術大学音楽学部作曲科卒業、同大学院を修了後、ベルリン芸術大学に学ぶ。1998年長野オリンピック文化プログラム・オペラ《善光寺物語》および開閉会式の入場行進曲を作曲。2000年和太鼓協奏曲第1番《飛天遊》がケント・ナガノ指揮ベルリン・フィル(和太鼓: 林英哲)によるサマー・コンサートで演奏され好評を博す。2010年平城遷都1300年を記念してオペラ《遣唐使〜阿倍仲麻呂》が奈良・薬師寺で初

演。現在、東京藝術大学副学長および演奏芸術センター教授。一般社団法人日本作曲家協議会会長。アンサンブル東風代表。

宮廻正明

島根県生まれ。平山郁夫に師事。1991年第46回春の院展で外務大臣賞受賞。1999年再興第84回院展で文部大臣賞を受賞。2002年再興第87回院展で内閣総理大臣賞を受賞。2010年にはロシア国立美術館「日本の美展」の個展を皮切りに、2013年にブダペスト歴史博物館(ハンガリー)、リスボン東洋美術館(ポルトガル)、2014年にピッティ宮殿近代美術館(イタリア)で個展を開催。現在、東京藝術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻教授および社会連携センター長、日本美術院評議員・同人。

東京藝術大学奏楽堂

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8



●JR上野駅(公園口)・鶯谷駅(南口)・東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分
●京成線上野駅、東京メトロ日比谷線・銀座線上野駅より徒歩15分
●台東区循環バス「東西めぐりん」 ②上野駅・上野公園から(東京芸術大学経由)⇒⑤-1東京芸術大学下車【30分間隔】
※駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください
※就学前のお子様の同伴・入場はできませんので、ご了承ください

お申し込み方法

下記の要領で往復ハガキにてお申し込みください。なお、申し込みが規定の人数を超える場合は抽選となりますので、あらかじめご了承ください。また、コンサート当日に当選ハガキを座席指定券に替えさせていただきます。

●お申し込み締切日(必着): 2015年5月11日(月)

●返信ハガキ発送予定日: 2015年5月15日(金)

申し込みハガキ記入例

52	110-8714	
	東京都台東区上野公園12-8	
	東京藝術大学 COI研究推進機構	※返信側には 何も記入しないでください
	「色舞奏」係	
	往信側	返信側

52	□□□□□□	
	送り先をご記入ください	
		①希望日 5/29(金) ②希望枚数 ※2名様までお願いいたします ③郵便番号とご住所 ④お名前(ふりがな記入) ※本学学生は所属を記入 ⑤電話番号(ご連絡の取れる番号)
	返信側	往信側